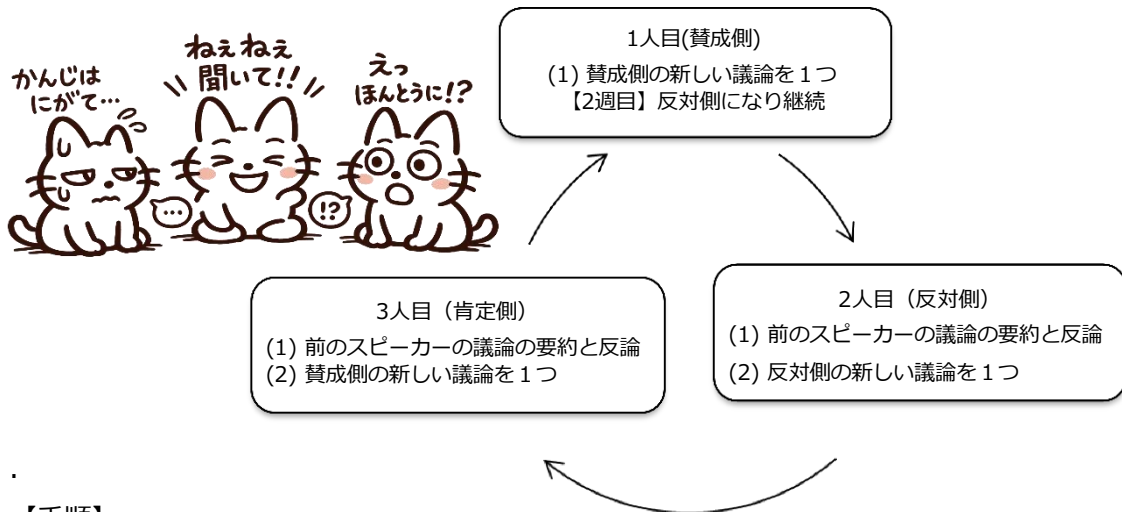


◆ 練習活動「要約と反論」

Summary & Refute という国際基督教大学の英語ディベート部で考案された練習方法をご紹介します。以下の手順を読み、次のページの表現集を使って練習してみましょう。最初は手順になれるために、日本語でやってみてください。



【手順】

- ① 3～4 人程度のグループを作り、論題を 1 つ選びます。
- ② 誰か 1 人を起点に、時計回りに賛成側、反対側を交互に割り振ります。
- ③ 準備時間は与えず、すぐスピーチを始めます。賛成側の 1 人目が、論題を肯定する議論を 1 つ出します。(相手の話をちゃんと聞いて、手際よく反論をすることが練習の主目的なので、説明の不十分な議論で構いません。むしろ、あからさまにおかしい議論を出して相手が反論しやすいようにした方がテンポも良くなり盛り上がります)
- ④ 反対側の 1 人目が前の人の議論をまず要約し、次に反論します。そして否定側の議論を 1 つ出します。
- ⑤ 賛成側の 2 人目が、反対側 1 人目の新しい議論だけを (1 人目への反論は要約する必要はありません) 要約し、反論します。そして、肯定側の新しい議論を 1 つ出します。
- ⑥ 1 順目が終わった場合、賛成側と反対側の立場が自動的に変わります。つまりは賛成側であった者が、反対側になります。2 順目が終わるまで続けます。(1 番初めにスピーチをした人が、直前の人の反論をして終わりです)

これは、相手の意見をよく聞いて、反論をするための練習です。議論は、出来るだけ簡潔に、相手が反論しやすいように、大きな穴のある議論でも構いません。よく聞いて、要約して的確に反論して下さい。聞き上手になりましょう！

◆ 1 人目の人 (肯定側)

挨拶	みなさん、こんにちは。
論題の確認	この試合の論題は、～です。 この論題に、自分は賛成します。
話の構成について	私の議論は、～についてです。(議論の見出し)。
議論	(出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
結び	以上から、自分は賛成の立場をとります。以上です。

◆ 2 人目の人 (否定側)

直前の相手の議論の要約	[前の人 / ○○さん] は、(直前のスピーカーの議論の要約「～なので、……だ」)と仰いました。
反論	しかしながら、これは [正しくありません。 / いつもそうだとはいりません 重要ではありません / 関係がありません。 / むしろ逆です]。 なぜなら～。以上から、○○さんの議論は成り立ちません。
話の構成について	それでは、次に私の否定側の議論に移ります。 私の議論は、～についてです(議論の見出し)。
議論	(出来るだけ簡潔に否定側の議論を説明します)
結び	以上から、自分は否定側の立場をとります。以上です。

◆ 3 人目の人 (肯定側)

直前の相手の議論の要約	[前の人 / ○○さん] は、(直前のスピーカーの議論の要約「～なので、……だ」)と仰いました。 注) 直前のスピーカーの出した新しい議論だけは要約します。直前のスピーカーの行った反論に対しては何も触れません。
反論	しかしながら、これは [正しくありません。 / いつもそうだとはいりません 重要ではありません / 関係がありません。 / むしろ逆です]。 なぜなら～。以上から、○○さんの議論は成り立ちません。
話の構成について	それでは、次に私の肯定側の議論に移ります。 私の議論は、～についてです(議論の見出し)。
議論	(出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
結び	以上から、自分は否定側の立場をとります。ありがとうございました。

論題集

<一般的なもの・ディベートの古典的な論題>

1. 学校のマスコットは〇〇にしよう。
2. 学校の制服は着物にしよう。
3. 有名人が何か罪を犯した場合、その罰は重いものにしよう。
4. 裁判はテレビ中継するべきだ。
5. 被選挙権も 18 歳以上に与えよう。
6. 義務教育が終えた者に、投票権を与えよう(16 歳以上に投票権を与える)。

<英語>

1. 英語の授業は全て、ネイティブスピーカーが教えるべきだ。
2. 電子辞書よりも紙の辞書の方が良い。
3. 高校では、第 2 外国語を必修にするべきだ。

<日本史・世界史>

1. 日本の江戸時代の鎖国政策は成功だった。
2. 信長は理想の上司だ。
3. 友人に持つなら、秀吉よりも家康の方が良い。
4. 「大航海時代」は全体的に考えると、世界にとって悪影響だった。
5. 人類史上の最大の発明は、スマートフォンである。
6. 人類の文明は、常に進歩し続けている。
7. 正しい戦争(Just War)は存在する。

<倫理・政経>

1. 人間の本質は、善である。
2. 思想・宗教の優劣を比べることは可能である。
3. イギリスは EU にとどまるべきである。
4. アメリカの「テロとの戦い」は失敗した。
5. アメリカは、個人の銃火器の所持を禁止するべきだ。
6. どんな形であろうと、民主主義が最善の政治体制である。

<国語>

1. 「走れメロス」のメロスは真の勇者である。 / ディオニス王は良い王であった。
2. 文学作品の優劣を比べる事は可能である。
3. 万人（または、日本の高校生）が必ず読むべき文学作品は存在する。
4. 日本を代表する作品を 1 つ選ぶなら、それは「源氏物語」だ。

◆ 試合形式 - Debate Format -

「要約と反論（サマリーアンドリヒュート）」に慣れたら今度は、試合形式で話してみよう。

【話す順番と役割】

肯定側	否定側
準備時間	
(1) 肯定側 1 人目 [1 分 or 2 分] ・ 肯定側の議論を 1 つ提示	(2) 否定側 1 人目 [1 分 or 2 分] ・ 否定側の議論を 1 つ提示
(4) 肯定側 2 人目 [30 秒 or 1 分] ・ 相手の議論に反論	(3) 否定側 2 人目 [30 秒 or 1 分] ・ 相手の議論に反論
(5) 肯定側 3 人目 [30 秒 or 1 分] ・ 反論されたことに対して立て直し	(6) 否定側 3 人目 [30 秒 or 1 分] ・ 反論されたことに対して立て直し
◆ その他のルール ・ スピーチの合間に準備時間は設けません ・ 勝敗は、より納得のいく議論を出したのはどちらのチームだったかで決めます。議論は以下の 2 つの観点で評価します： a) A→B→C が納得のいく流れになっていたか。 b) 具体例をきちんとだしていたか	

- Memo -